



(提供先：石岡市観光協会)

今月の1枚

ひたちのくにそうしゃぐう 常陸國總社宮 例大祭 (石岡のおまつり)

石岡市は、約1,300年前の奈良時代に常陸國の国府が置かれ、国の政治・文化の中心地として発展してきた歴史を持ちます。石岡台地に広がる市の中心部には、国府と同時期に建立された常陸國總社宮があり、当社からは美しい筑波山や霞ヶ浦、恋瀬川等の素晴らしい景色を眺めることができます。

常陸國總社宮は、国府の長である国司が勤務する国衙(現在の県庁にあたる)に隣接して創建されました。「總社」とは、国司が一国内の各神社を参拝する業務を簡素化するために、国内に鎮座する神々を一ヶ所に集めた神社を意味します。当社では、6つの御祭神(伊邪那美命、邇邇藝命、須佐之男命、大國主命、大宮比賣命、布瑠大神)と境内にある十二末社と合わせて、常陸國內の神々を祀っています。

常陸國總社宮において最も重要なお祭りは、毎年9月の連休を中心に開催される例大祭です。このお祭りは、地域住民も一体となって祝うことから、“石岡のおまつり”とも呼ばれています。

土曜日は「神幸祭」と呼ばれます。御分霊(御祭神の分身)が大神輿によって幌獅子とともにまちを練り歩く神事です。大神輿は15年ごとに廻る「年番町」に造営される「仮殿」に鎮座します。

日曜日の「奉祝祭」では、奉納相撲や十二座神楽、幌獅子と山車の大行列が見ものです。最終日は、再び大神輿と供奉行列がまちを練り歩き、御分霊を本殿へ還御する「還幸祭」が行われ、お祭りは終了します。

例大祭の期間中は、全国から40万人以上の観光客が訪れ、関東三大祭りと呼ばれるほどの賑わいです。ご家族・ご友人とともに、活気溢れる石岡市の常陸國總社宮 例大祭へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



◆ 名称：常陸國總社宮
 所在地：茨城県石岡市総社2-8-1
 アクセス：【車】常磐自動車道 千代田石岡IC・石岡小美玉スマートICから約10分
 【電車】JR常磐線「石岡駅」下車 徒歩で約15分

「常陸國總社宮 例大祭」：平成27年9月15、19～21日(15日は式典のみ)開催
 お問合せ先：常陸國總社宮 TEL：0299-22-2233